

やじろべえ

発行日 2023年8月
 発行 中原区地域教育会議
 編集 広報委員会
 事務局 川崎市民館
 川崎市中原区新丸子東3-1100-12
 電話 044-433-7773 FAX 044-430-0132

第28回中原区子ども会議（報告）

2023年1月15日（日）13：00開始 中原市民館多目的ホール・会議室他

テーマ：「あったらいいな こんな場所」

今回の子ども会議は、公園や図書館といった物理的な意味だけではなく、安心できる・ホットできるといった内面的な意味も含めて、中原に「あったらいいな こんな場所」をテーマに話し合われました。このテーマは、自分たちが住んでいる街がどんな場所なのかを考えるきっかけにできたらと子ども会議子ども実行委員会（たんぽぽちゃ）で話し合っ決めてました。

参加者：小学生/2年～6年（17人）中学生（3人）※対象年齢小学4年生以上で募集したが2年生、3年生の参加もあり盛り上がった。

3つの分科会からは「シエスタ的な昼寝スペースがほしい」「勉強ができる・友だちと話しながら勉強できる場所がほしい」「趣味のことが自由にできる・趣味で交流ができる場所がほしい」等の意見の中、「煙、においが横に漏れない喫煙所」や「自転車専用道路がほしい」「道を広く」など街の中の安全を思う声も聞かれた。

以下、会議の流れを写真で紹介。



⇒



川崎市子どもの権利条例（DVD）視聴
子ども会議は子どもの権利条例に基づいて行われています。

アイスブレイキング（自己紹介ゲーム）

《全体会の様子》

みなさんの前で発表と意見交換↑

・子どもから大人に聞きたいことなど。

・最後に板橋区長から講評をいただきました。

《分科会の様子》



←分科会発表の様子

記念の集合写真↓



掲 示 板・・・今年度開催予定の行事

★問合せ：中原市民館社会教育振興係

☎ 044-433-7773

- 中原区第1回中学校区交流集会 令和5年10月12日（木）18：30開始 中原市民館視聴覚室
- 中原区子ども会議 令和6年1月21日（日） 中原市民館多目的ホール
- 教育を語る集い 令和6年2月3日（土） 中原市民館多目的ホール



ふわリーとぶらっと

中原区地域教育会議「第34回教育を語る集い・第52回保護者と教職員の集い」(報告)

「身近な科学を学ぼう！」身の回りの不思議を解く～空はなぜ青いのか～

2023年2月4日(土) 中原市民館多目的ホール 13:00開演

当日は、中原市民館多目的ホールのホスト会場に62人、Zoomでの参加が35人、合計97人の参加で開催されました。主催の挨拶に続き、教職員組合中原支部長代理(鈴木幸治氏)、中原区PTA協議会副会長(高橋美里氏)、中原区長(板橋茂夫氏)から挨拶をいただきました。

◇中原区子ども会議「たんぼぼちゃ」から1月15日(日)開催の第28回中原区子ども会議の報告がありました。報告の様子は、1ページに掲載されておりますのでご参照ください。

【講演】 講師 藤嶋 昭 氏

東京大学特別荣誉教授、東京理科大学荣誉教授、川崎市名誉市民、そして、中原区在住です。光触媒の生みの親であり研究の第一人者。東京大学大学院在学中に光触媒反応を発見され、光触媒の汚れ防止や抗菌、空気清浄化作用などは現在様々な分野で使用されています。また、紫綬褒章をはじめ、内閣総理大臣賞・川崎市民荣誉賞・神奈川文化賞・文化功労者・文化勲章など数々を受賞され、長年にわたり、幅広い年齢層に向け各地での出前授業に精力的に取り組んでいる。

□講師あいさつ・・・「身近な科学を学ぼう」というタイトルにさせて頂きました。実験を通して1時間半行います。関心を持って身の回りを見ると、ほんとに不思議だなってということがいっぱいありますね。その辺のところからお話をはじめさせて頂きます。



◇朝顔の場合は、何を基準にして咲く時間を選ぶか。
□一般に、暗くなってから9時間後に開く。これが、アサガオが本来持っている力、性質です。だから、夜中に光を当てるとアサガオは困ってしまいます。

◇タンポポはいつ花を開くか。
□明るくなったら花を開く。暗くなったら閉じる。それがタンポポが持っている性質です。だから、ヨーロッパでまだ時計のないときに、農家の方はタンポポを見て花が開いたら働きに行く、花が閉じたら帰る生活をしていました。

◇空はなぜ青いのか。
□このことが長い間説明ができなかった。いまから150年ほど前、レイリーという人が光をはじく“散乱現象”(空気は主に窒素と酸素なので見えません。しかし、そこに太陽の光が入ってくると、紫色の光が散乱されやすくなる)光は太陽から大気に入ってくるまで距離が長いから、徐々に散乱されて青く光るようになる。それでは、なぜ夕焼けは黄色から赤になるのか。

□これは、日が沈んでいくと、今度は太陽から今いる所

までの距離が長くなります。そうすると、青い光は散乱されてしまい、残るのは黄色と赤色になる。だから夕焼けは黄色から赤色になるということなのです。

◇じゃあ、雲が白いのはなぜですか・・・このように当たり前のことにまずは思い考えることが必要になるんですね。と続きます。

途中省略し、講師の専門である光触媒へ移ります。
◇植物の葉の上に太陽の光が当たる→水が分解する。この光合成反応を人工的にやろう。

というのが53年前の大学院生の時の実験結果です。

葉っぱの代わりに「酸化チタン」という光に感じやすい材料の1つを使うことで水を分解することができたんです。酸化チタンを水の中に入れて、光源からの光をあててみたら水を分解して酸素ができたという実験。

歯磨き粉の中にも入っている白い粉で食べても安全です。たばこのにおいや空気中の匂いを分解してくれる。そしてウィルスを分解するので、空気清浄機として使われています。また、安定していて光を当てても溶けない性質があるので、これをコーティングしておく汚れが



分解して常にきれいになる。写真はパリのルーヴル美術館のピラミット型の入口です。ガラスでできているけれど、光触媒をコーティングしてあるので汚れない。

最後に実験

①コップに水を入れる。→上に紙を載せてふたをする。
→紙を手の平で押さえて逆さまにする。下になった紙を押さえている手を離す。上手くできればこぼれない。どうしてでしょう。



②光触媒をコーティングした紙にマジックインキで文字を書き光を当てると文字が消える実験。

■興味深い講演と実験で、多くの質問に答えると共に書籍の紹介もあって、ホスト会場で展示されていました。

■閉会の挨拶 中原市民館館長 石川栄司氏

第2回 中学校区交流集会「地域教育会議の成り立ちとこれからについて考える」(報告)

2023年2月24日(金) 18:30開始 中原市民館多目的ホール

《ビデオ視聴》

(川崎区地域教育会議宮越議長作成凝縮版)

主な内容

- 川崎市地域教育会議誕生の背景
受験競争の過熱、いじめや校内暴力の発生、不登校の増加など学校教育の危機的状況などから、市内の全小学校を会場に教育集会が開催され、市民、学識者、教職員からの提言を受け、行政全体の取組みとして誕生。
- 誕生から20年あまり行われてきた各中学校区での活動事例を財産として紹介。
- 現在進められているコーディネーターの位置づけ、期待など。



《川崎市教育委員会 地域教育推進課 西入博貴氏より説明》以下主な内容

- いま、国が全国的に進めている「地域学校協働活動」、それに川崎市も合わせる場所は合わせていこうと進んでいます。
- 川崎市に51ある中学校区地域教育会議は、国が示している「地域学校協働活動」を推進する役割を兼ねていることになっています。それを支える組織として行政区の地域教育会議があります。
- 先生方の働き方改革がいられていますが、地域ができることと学校ができることとの役割分担を、各中学校区のみなさんにもう1回見直しをお願いするところからと考えています。
- 少しずつできることから実施していく、そのために今までの形を変えてもいいのかなとも思います。柔軟にやっていただけたらと思います。
- 地域教育コーディネーターを令和4年度中に各中学校区にと、教育委員会も進めてきたところでしたが、本当に地域によって様々なので、そんなに一律に進められないということを感じて、いまは柔軟に進めさせていただいております。各中学校区の意見を聞きながら一緒に進められたらと考えております。

《質疑応答・意見交換》

Q・・・子どもたちのためについてというのはあるかもしれないけれども、そもそも地域の中で子どもたちを育てるときに僕らはどういうところを進めていけば良いかももう少しわかりやすく説明していただけないかなと思います。

A・・・私自身感じたのは、学校の中で子どもたちは授業や部活動、委員会活動など、様々な活動を行っています。ただ、子どもたちにとってみると、やはり子どもたちは地域で生活をしていて、地域で育って、大人になってやっぱりその地域で生活をする。

つまり、地域がふるさとなる。その部分でどれだけ地域の方たちと関わり、もっといえば地域に子どもたちが誇りや愛着を持てるのかというのはすごく大事なと私自身は学校現場にいた時は思っていました。

地域教育会議の皆さんもそうですけども、本当に地域の方たちがいろんなところでつながってくださっている、声を掛けて下さっているという部分に関して、当たり前のように子どもたちは考えているけれど、それってすごいことだなんて感じています。

ネットワーク会議については、「こういうイベントをやりますから、地域の方協力しませんか」というネットワーク会議をされたところもありましたけれど、まずはお互いがどんなことをやっているのか、どんな思いを持って地域の子どもたちを見ているのかを知っていただくというのがネットワーク会議の大事なことなのかなと思っています。

Q・・・委員構成で、大きくいうと町内会、自治会の関係者が三分の一、PTA関係者が三分の一、後の方たちは、組織として名簿に載っているけれども、保育士さんとか活動に参加できないんじゃないかと思えます。その辺のところをどのように考えるのか。

A・・・情報を共有したり、ネットワーク会議的な形で地域教育会議のことを保育園の方とか他の団体の方とかに知ってもらい、興味を持ったらぜひ来てくださいというような形もあるのかなって思えます。

《ネットワーク開催事例》中原中学校区から
□21の団体に声をかけ15団体に参加していただいて地域の子どもたちの様子や、コロナ禍でどんな活動ができたか発表してもらいました。

- ・コロナ禍で学校との連携も取れなかったのでコミュニケーションがなかなか取れなかったと地域の方もおっしゃってありました。

- ・町内会では今年の1月に餅つき大会を開催しましたが、他地区でイベントがほとんどなかったのも子どもたち130人集まってびっくりしました。

- ・民生委員のかたも朝のあいさつ運動はコロナ禍でも活動を進めてきました。

- ・子ども文化センターはコロナ禍にもかかわらず感染防止対策をしながら子どもたちの居場所というところで活動してまいりました。

- ・情報交換してみないとなかなか耳に入ってくないということが今回やってみたことで感じました。

◇以上の報告を聞き、再び意見交換を行いました。

【中原区地域教育会議 2023年度(令和5年度)総会】(報告)

2023年5月25日(木) 18:30 開会 中原市民館多目的ホール

委員52名(出席28名、委任状11名)規約第9条第1項に基づき総会は成立致しました。

■あいさつ(但野文子議長代理)・・・30年の歴史のある地域教育会議ですが、このように学校・各組織・地域を一堂に集めた団体は貴重だと思っております。組織のあり方が大きく変わる時期に様々な社会教育の意義を見直し、地域の子どもたちを支えていくことができればと思っております。

■約20分のビデオ鑑賞(第2回中学校区交流集会で視聴したビデオ)

活動報告

◇子ども会議実行委員会・・・鈴木実行委員長より「この子どもたちは私の宝です」の言葉。コロナ禍の様子を見ながら令和4年度も積極的に活動し、それぞれの子が「得意」を發揮してくれました。

具体的には、月1回の定例会、今年度は16人で活動しました。3月に「進級と進学を祝うつどい」6月の「多摩川美化活動」これも子どもたちは楽しみにしている活動です。7月26日～27日一泊二日で青少年の家へ行きました。10月11日(家庭と地域の日)は、第27回子ども会議のまとめを区長に報告しました。11月5日(土)「なかはら子ども未来フェスタ」にスタッフとして参加しました。2023年1月15日(日)「第28回中原区子ども会議」を開催しました。

◇教育を語る集い実行委員会・・・実行委員会は7回行いました。1回目の運営委員会で講師が決まり、恵まれた一年でした。開催日は2023年2月4日(土)。中原市民館多目的ホールをメイン会場に、インターネット(ZOOM会議形式)を加えたハイブリッドで実施されました。※2ページ参照

講師は、中原区在住の藤嶋 昭先生をお招きしました。科学者で光り触媒の第一人者である藤嶋先生の「身の回りはおもしろいことばかり」「空はなぜ青いのか」とか「たんぼぼ」は明るくなると開き、暗くなると閉じる性質があるので時計のなかった頃、農家の人たちはタンポポが開くのを見て働きに出かけていた。そんな話し、また、先生の専門である、植物の葉の光合成反応を人工的に行う実験に成功したお話。更に、小学生のみなさんに理科が好きになって欲しいと出前事業に精力的に取り組んでおられる話し。最後に実験もあり、楽しく有意義な集いでした。

◇中学校区交流集会・・・実行委員会は5回開催し、交流集会は2回開催しました。

【1回目】10月6日(木)多目的ホール。

・中原中学校区地域教育会議の事例発表・・・発足当時の話し～地域コーディネーター設置に向けて取

組の様子。

・平間中学校区地域教育会議の事例発表・・・地域教育コーディネーター選出までの流れ。

【2回目】2023年2月24日(金)・・・地域教育会議の発足と活動についてのビデオ鑑賞と、川崎市教育委員会地域教育推進課西入博貴氏の講演と意見交換。※3ページ参照

◇広報委員会・・・「やじろべえ」第51号を発行しました。

◇運営委員会・事務局・・・運営委員会は10回開催。

◇会計決算報告 ◇会計監査報告

◇令和5年度活動計画案 ◇予算案 ◇役員体制、それぞれ拍手をもって承認されました。

令和5年度役員紹介

今年度は1期2年の後期になるので変更はなし。但し議長については都合により現在選出中です。 運営委員→



2023年度各委員会のみなさん(総会出席者)



子ども会議
実行委員会



教育を語るつどい
企画実行委員会



中学校区交流集会
実行委員会